

平成 31 (2019) 年度

# 社会情報大学院大学

広報・情報研究科 広報・情報専攻  
専門職学位課程

## 院 生 募 集 要 項

# 学校法人 先端教育機構

## 社会情報大学院大学

平成 31 (2019) 年度 社会情報大学院大学 広報・情報研究科 広報・情報専攻 専門職学位課程 院生募集要項

### 本学が求める人材像と入学試験の基本方針 アドミッション・ポリシー

本学では、求める人材像と入学試験の基本方針を「アドミッション・ポリシー」として制定しています。

#### 求める人材像

社会情報大学院大学は、「本学の理念や広報・情報研究科の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に勉学・研鑽に取り組み、高度専門職業人として産業社会、地域社会に貢献、さらに世界で活躍しようとする意志を持つ者」を歓迎します。  
特にグローバルな視野と基礎知識を備えた院生を求めています。

具体的には、下記の人材を対象としています。

- ① 一般企業の広報、広告、企画部門などコミュニケーション領域の仕事に従事している若手、中堅社員。将来の情報担当役員（CIO、CCO）をめざして専門能力の向上に挑戦する者
- ② PR 会社、広告代理店など広報・情報領域を主たる業務とする企業社員、および専門能力の向上をめざすメディア系企業（マス・メディア/SNS 系）の者
- ③ 官公庁、地方公共団体とその関連団体等で広報・広聴業務や企画に従事する公務員、ならびに地域活性化をめざす団体（NPO など）職員、学校法人の広報担当者など
- ④ 広報・情報分野での専門性を磨き、就職や社会活動においてキャリアの向上をめざす者

#### 入学試験の基本方針

社会情報大学院大学の入学試験は、下記の方針のもと実施されます。

- ① 社会課題を読み解き、その課題を解決する計画や戦略を論理的に論述できる思考能力を求めます。
- ② 卓越した発想に基づき、実現可能性に支えられた説得性のある課題設定や計画の立案を学ぶ素養を求めます。
- ③ 論理的かつ建設的な議論を展開し、周囲の人々から共感を得ることのできるコミュニケーション能力を求めます。

**社会情報大学院大学はこのようなアドミッション・ポリシーのもと、  
社会の一翼を担う人材として成長することのできる者を受け入れます。**

## 1. 出願資格 (以下①～⑤のいずれかの要件を満たす者)

- ① 大学、大学院を卒業した者及び平成 31(2019)年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構(学校教育法第 104 条第 4 項の規定)により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31(2019)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本大学院において修士課程を受けるにふさわしい学力があると認められた者

※上記⑤の資格により出願しようとする者については、

必ず受験しようとする日程の出願受付締切の 1 週間前までに所定の手続きに基づき、出願資格申請をすること。

【提出書類】出願資格申請書(本学指定・HP よりダウンロード)、履歴書(様式任意)、職務経歴書(様式任意)

【提出方法】上記提出書類に必要事項記入の上、電子メールに添付して件名に「【出願資格申請】\_氏名」とした上で admissions@mics.ac.jp 宛に送付すること。

※申請の可否は提出後 1 週間以内に電子メールで通知する。

修士課程を受けるにふさわしい学力があると本学が認められた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

## 2. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
広報・情報研究科	広報・情報専攻	30 人

(注) 入学時期は 4 月のみです。

## 3. 試験区分・選抜方法等

入学試験は、「一般入学者選抜試験(一般入試)」と「企業・団体等推薦者選抜試験(推薦入試)」の 2 区分で実施する。それぞれの入試区分に定員や出願締切および試験日程に違いはない。

1. 一般入試 ①一次選考 判定は、提出書類(「研究計画書」などの出願書類)に基づいて行う。

②二次選考 一次選考合格者のみを対象として行う。

試験	内容
筆記試験	社会人等の経験を踏まえつつ社会情報(広報・情報)分野を研究していくうえで、必要とされる素養と適性について試験を行う。
面接試験	研究計画、研究能力、社会人等経験、志望動機に関し、総合的に考査する。

2. 推薦入試 ①一次選考 判定は、提出書類(「研究計画書」・「推薦書」などの出願書類)に基づいて行う。

②二次選考 一次選考合格者のみを対象として行う。

試験	内容
筆記試験	社会人等の経験を踏まえつつ社会情報(広報・情報)分野を研究していくうえで、必要とされる素養と適性について試験を行う。
面接試験	研究計画、研究能力、社会人等経験、志望動機に関し、総合的に考査する。

※「研究計画書」などの出願書類による書類審査を行い、面接試験を重視し、総合的に判断して選抜する。

※「推薦書」を提出した受験者は、推薦入試受験者として取扱う。

## 4. 試験期日及び場所

出願は、随時受付ける。出願受付順に一次選考を実施し、一次選考合格者は、二次選考を下記の日程で実施する。

日程区分	出願締切	【基準日】二次選考	合格発表	入学手続期限
早期日程	7月31日(火)	8月3日(金) ～8月5日(日)	8月10日(金)	8月31日(金)
A日程	9月25日(火)	10月5日(木) ～10月8日(月)	10月12日(金)	10月26日(金)
B日程	11月26日(月)	12月7日(金) ～12月8日(土)	12月15日(土)	12月25日(火)
C日程	1月21日(月)	1月26日(土) ～1月27日(日)	1月30日(水)	2月15日(金)
D日程	2月8日(金)	2月15日(金) ～2月17日(日)	2月27日(水)	3月13日(水)
E日程	3月11日(月)	3月14日(木)	3月20日(水)	3月27日(水)

※二次選考については、出願時に希望日時を提出（特定の日に集中した場合は調整する）。

また、上記の二次選考実施基準日に都合がつかない場合は、連絡すること。

※所属先（企業・団体等）からの推薦を受けて受験される方（推薦入試）は、早期に入試を実施することがあるので、大学院事務局へ問い合わせること。

※試験時間割、試験場その他の詳細は、一次選考結果通知に送付する「二次選考の案内」による。

## 5. 出願方法

下記の手順に従って、出願すること。出願は、インターネット出願（WEB出願）に限る。

- ① **プレントリー**  
本学ホームページより、氏名、連絡先（メールアドレス、電話番号）、面接希望日時（面接日時を第二希望まで登録）を入力すること。  
※プレントリーの先着順に面接日時を優先して決定する。
- ② **出願書類の提出**  
出願に必要な書類を本学ホームページよりダウンロードすること。  
必要書類の作成・記入の上、本学ホームページよりアップロードすること。  
必要書類については、後記「6. 提出書類等」を参照すること。
- ③ **検定料の納付**  
検定料(35,000円)をクレジットカード決済または口座振込により納付すること。
  1. クレジットカード決済の場合 / 本学ホームページより手続できる。
  2. 口座振込の場合 / 振込先 三菱UFJ銀行 青山支店 普通口座 0130323  
口座名義 学校法人先端教育機構 / ガク) センタンキョウイクキコウ

※金融機関によっては、旧法人名「日本教育研究団」と表記される場合があるが、そのまま手続きすること。

※一旦、納入された検定料は、いかなる理由でも返還はしない。

※出願受付締切日が金融機関の定休日である場合は、翌営業日までに入金を確認されれば有効とする。

出願手続完了が確認できたら、admissions@mics.ac.jp より出願手続完了確認メールを送る。①～③の手続きが完了しているにもかかわらず、メールが届かない場合は、大学院事務局に連絡し、必要な指示をあおぐこと。

## 6. 提出書類等

書類等	提出者	摘要
志願票	全員	所要事項を記入したもの。 <b>本学所定様式をダウンロードの上、記入すること。</b>
研究計画書	全員	本学で取り組む研究内容を下記の A または B のいずれかについて、 ご自分のこれまでのキャリアと今後のキャリアプランを踏まえて、 A4 サイズ 2～3 枚程度で簡潔にまとめること。 <b>A 大学院で取り組みたい研究テーマまたは、実務上の課題。</b> <b>B 学びや仕事を通じて解決したい社会課題。</b> Word、PowerPoint 等で自由に作成すること。 図表等を添付することもできる。提出された研究計画書をもとに選考する。 <b>様式は任意だが、本学ホームページより様式をダウンロードすることもできる。</b>
検定料	全員	検定料：35,000 円 銀行振込又はクレジットカード決済に限る。また、振込の際に発生する振込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。
推薦書	推薦入学 受験者	<b>本学所定様式</b> をホームページよりダウンロードの上、記入すること。 ①法人代表者、人事部長等が記入すること。 ②企業等における社内派遣制度の使用、 または内部選考による合格者を推薦する場合は、その旨を記載すること。 ※選考時に本研究科により推薦理由等について人事担当責任者に問い合わせを行う場合がある。 ※個別審査により、推薦入試の出願資格に該当しないと判断した場合は、 一般入試として取り扱うことがある。
日本語学力 証明書	外国人	<b>本学所定様式</b> をホームページよりダウンロードの上、記入すること。 日本語担当教員又はこれに準ずる者が作成したもの。

## 7. 合格者の発表及び入学手続

- ① 一次選考（書類選考）合格者の発表は、出願時に登録されたメールアドレスに通知する。
- ② 最終合格者の発表は、合格発表日に郵送により通知する。
- ③ 電話による合否についての照会には、一切応じない。
- ④ 合格通知を受けた者は、その際に送付される入学手続に関する指示に従い、

それぞれの受験日程「4. 試験期日及び場所」に定められている所定期間内に

必要な手続（学費の振込及び入学手続書類の提出）を行うこと。

また、所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しない者として取り扱うので注意すること。

入学手続完了通知等を行わないので留意すること。

- ⑤ 入学許可は、平成 31（2019）年 4 月入学許可者については、平成 31（2019）年 3 月下旬頃に本人宛に通知する。

## 8. 学費

入学料	20 万円（初年度のみ）
授業料	年額 140 万円

## 9. 日本学生支援機構奨学金・教育ローン・学費支援制度について

国の奨学金や提携金融機関の教育ローン、本学独自の学費支援制度があります。

### ① 独立行政法人日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金

日本学生支援機構の奨学金をご利用頂けます。

詳細は日本学生支援機構ホームページ（<http://www.jasso.go.jp/index.html>）を御覧ください。

### ② 国の教育ローン

「日本政策金融公庫（国民生活事業）」の、教育資金を必要とする方に向け教育ローン制度があります。

詳細は日本政策金融公庫ホームページ（<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>）を御覧ください。

### ③ 提携金融機関の教育ローン

提携金融機関にて、教育ローン（金利優遇）がご利用いただけます。

ご希望にあわせて、最長 10 年間までの返済期間を自由に設定できます。

詳細は本大学院までお問い合わせください。

提携金融機関：セディナ、オリコ

### ④ 学費支援制度

在学中の提携教育ローンの金利負担分を本大学院が支援する制度があります。希望者全員に適用されます。詳細は本大学院までお問い合わせください。

## 10. 注意事項

- ① 別日程の募集において、再出願（再受験）することを妨げない。

- ② 提出書類は入学者選抜のための重要な資料となるので、正確に作成すること。  
提出期限までに所定の書類が完備しない出願は受理しない。  
また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。
- ③ 「受験票」及び「受験者心得」は、出願者本人に登録されたメールアドレスに電子メールで通知する。  
願書受理後、1週間以内に到着しない場合は、必ず本学事務局入試担当に連絡し、受験に必要な指示をうけること。
- ④ 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、  
これを希望する者は出願時に本学事務局入試担当に申し出ること。
- ⑤ 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」による、  
大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- ⑥ 事情によっては、出願手続、試験期日又は入学手続期限等について、変更することもある。
- ⑦ 出願手続後は、どのような事情があっても、書類は返却しない。
- ⑧ 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- ⑨ 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、  
①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。  
また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、  
②院生支援関係（健康管理、就職支援、授業料延納・奨学金申請・図書室の利用等）、  
③授業料徴収に関する業務を行うために用いる。
- ⑩ 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- ⑪ 提出書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

## 11. 学位および修了要件

### 【学位】

広報・情報学修士（専門職）

※英文学位名称：Master of Information & Communication Studies, MICS

### 【修了要件】

- ① 修士課程の修業年限は2年となる。
- ② 修士課程を修了するためには、前項に定めた年数以上を在学し、所要科目を履修して32単位以上を修得し、  
必要な演習（指導）を受け、かつ、修了認定の審査に合格しなければならない。



### **個人情報の取扱いについて**

本大学院が出願内容を通じて取得する個人情報は、

- ①入学者選抜
- ②合格者発表
- ③入学手続き
- ④入学者選抜方法等における調査・研究
- ⑤本大学院からのお知らせ
- ⑥これらの付随する業務を行うために利用します。

### **入試に関するお問い合わせ**

社会情報大学院大学

事務局入試担当

〒169-8518

東京都新宿区高田馬場 1-25-30

TEL: 03-3207-0005

Email: [admissions@mics.ac.jp](mailto:admissions@mics.ac.jp)

URL: <https://www.mics.ac.jp/>



学校法人先端教育機構

社会情報  
大学院大学

THE GRADUATE SCHOOL OF  
INFORMATION & COMMUNICATION